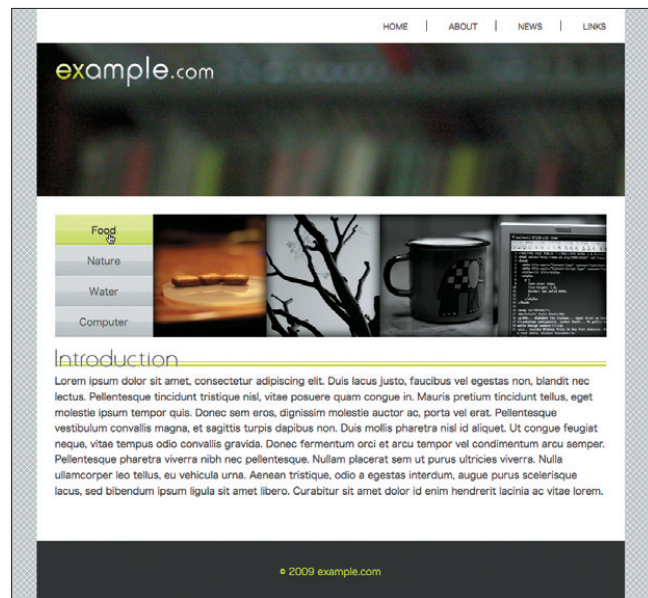


SECTION
01離れた場所をロールオーバーさせる
フォトナビゲーションメニューInternet Explorer
6 7 8
Firefox
2
Safari
2

制作・文：福島英児

リストとしてマークアップしたナビゲーションメニューに、大きめの画像を使って目を引くフォトナビゲーションメニューに仕上げます。テキストリンクにマウスオーバーした際に対応する画像が変化、逆に画像にマウスオーバーした際にはテキストリンクが変化するインタラクティブな要素を盛り込みます。

制作のポイント

- ・ シンプルなUI要素でマークアップする
- ・ positionプロパティによる位置決めを行う
- ・ span要素を使うことでIE6にも対応する

使用するおもなコード／プロパティ

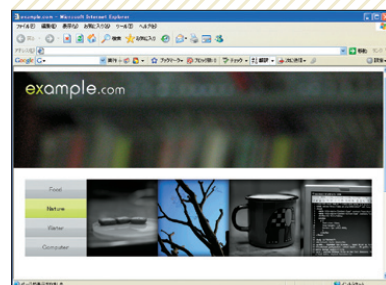
```
background
float
position
: hover 疑似クラス
```

TECHNIC 1 CSS オフの環境ではリストメニュー



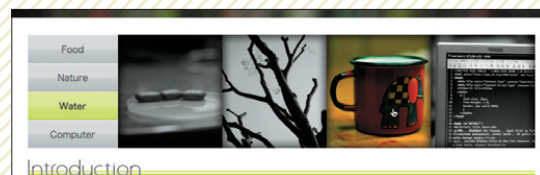
CSS オフの環境ではシンプルなリストとして表示され、問題なくリンクメニューとして動作します。

TECHNIC 3 無視できないIE6 でも動作



最新のモダンブラウザと同様に、IE6でも問題なく動作します。

TECHNIC 2 2 箇所同時にロールオーバー

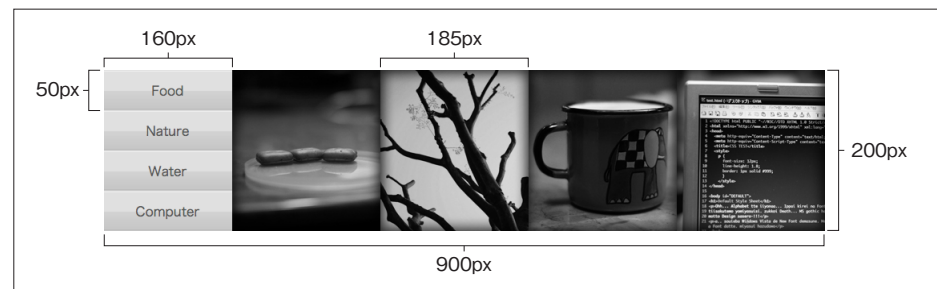


画像へマウスオーバーした際には、離れた場所のテキストリンクがロールオーバーします。

■ ロールオーバーさせる画像を用意する

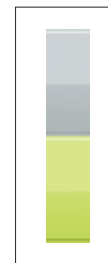
- 01 ナビゲーションの画像とテキストリンクの背景画像を用意します。作成するフォトナビゲーションは、縦200px、横900pxの大きさで、各パーツは 1-1 のようなサイズで構成されます。それぞれのサイズに合わせて画像を作成し、CSSを記述しましょう。

1-1



- 02 左側のテキストリンク部分の背景画像を作成します。通常状態と変化状態の2つを1つの画像としておくことで、ロールオーバー時の画像読み込みのタイムラグを防ぐ効果があります 2-1。サイズは縦100px（通常時50px、変化時50px）、横20pxとしました。CSSで背景に指定する際にはx軸（横）にリピートして配置するので、横幅のサイズは小さくても構いません。

2-1



- MEMO
- CSSのみでロールオーバー効果を出す場合には、JavaScriptなどのように画像をプリロード（先読み）しておくことができません。そのため、通常時と変化時を別々の画像にしまうと、ブラウザはマウスオーバー時にはじめて変化したときの画像を読み込みにいくため、表示されるまでにタイムラグが発生します。このようにあらかじめ1つの画像としてまとめておくといでしょう。

- 03 フォトメニューのメインとなる画像もテキストリンクの背景画像と同じように、通常時と変化時を1つの画像としてまとめておきます 3-1。通常時のモノクロ画像は、フォトショップの【色相・彩度】を使い彩度を落とすことで簡単に実現できます 3-2。

3-1



3-2

